

親 五九

法佛冥係一... 之面電...

十七年八月

外務大臣...



太政大臣...

在北京吉田臨時代理公使より東京電譯
英國公使の内話に據り清國政府の合衆
國ニテ天津条約に據り清佛事件の仲裁
ヲ為サントシテ清國ニテ大抵所
裁断に服従スルヲ陳述セリ是に於テヨ
シグ氏に於テ是ヲ英政府に電報シタル
日政府より佛國に於テ河傳センコト申入
タルに佛國より未タ回答セスト云フ
清國ニテ高船廿七艘ヲ英商ルツセル社
川渡サントス

八月二十日午後七時五分トシテ吉田(直方)参

吉田

井上外務卿へ

外務卿内申
清佛關係之儀、身在北京吉田
代理公使ヨリノ電報
右件回覧也

明治十七年八月五日 内閣書記官

太政大臣三條實美殿

左大臣熾仁親王殿

参議大木喬任殿

参議山縣有朋殿

参議伊藤博文殿

言
參議 山縣有朋 殿
參議 伊藤博文 殿
參議 西郷從道 殿
參議 井上馨 殿
參議 山田顯義 殿
參議 松方正義 殿
參議 川村純義 殿
參議 福岡孝弟 殿
參議 佐木高行 殿

佛人の本月五日基隆島ノケーロング（雞籠カ）ヲ取リタリ。其島の直下ニ電報スベシ

右八月九日午後八時廿五分上海發

樺本公使

總理衙門ハ佛國ニテ合衆國ノ調停ヲ謝絶セリト曰ヘリ。右吉田代理公使ヨリ

右八月九日午後八時廿五分上海發 右森領事

水師提督レスベス氏ハ本月五日ヲ以テ基隆島ノケーロングヲ掠取シ其後ノ處分ニ付テハ命

令ヲ俟ツ趣ナリ。仏國公使ハ書翰ヲ以テ法

國政府ガ仏國ノ妥協ヲ肯ニスルヤ否ヤヲ

問ヒ若シ肯ニセサレバ速カニ相島ノ処分ニ及